
TPOffset v2.7.3.2

取扱説明書

株式会社ディ・エム・シー

—目次—

はじめに	-----	2
使用方法	-----	3

この取扱説明書で提供するソフトウェアは、使用許諾契約に基づいて提供され、その内容に同意する場合にのみ使用することが出来ます。

著作権

Copyright © 2019 DMC Co., Ltd

商標

Microsoft、Windows は Microsoft Corporation の米国に於ける登録商標または商標です。

はじめに

本書には TPOffset を正しくご使用していただくための情報が記載されています。

弊社の DUS シリーズコントローラを使用して静電容量方式マルチタッチタイプタッチパネル(DUS シリーズ/EXC シリーズタッチパネル)を使う場合には、必ず本アプリケーションを実行する必要があります。

基本的に、初めて使う時に 1 度実行して頂だけで、次回以降は不要です。ただし、使用環境が大きく変わったり、操作感が以前と変わったように感じた場合には、再度本アプリケーションを実行してください。

A 特徴と機能

TPOffset は、弊社タッチパネルコントローラ DUS シリーズを利用し、Windows 上で静電容量方式マルチタッチタイプタッチパネルを快適に使用するための調整を行うアプリケーションです。

以下に提供する機能とその特徴を示します。

1. 調整ボタンをクリックすることで自動的に感度調整を行い、操作性を向上させます。
2. 調整した値をタッチパネルコントローラ IC の ROM 領域に書き込むことで、以降は同様の操作は必要としません。

B 動作環境

対応機種 IBM PC/AT 互換機

対応 OS Windows XP SP3, Windows Vista SP2, Windows 7 SP1 (32bit/64bit)、Windows 8 (32bit/64bit)、
Windows 8.1 (32bit/64bit)、Windows 10 (32bit/64bit)

C 注意事項

1. 本アプリケーションは弊社製タッチパネルコントローラ DUS シリーズ用のアプリケーションです。他社のタッチパネルコントローラ及びタッチパネルコントローラに類する物は動作対象外となります。
2. 本ソフトウェアの使用方法は本書に従った方法で行ってください。異なる使用方法では動作しない場合があります。
3. 本ソフトウェアは対応機種として明記された機種、OS 以外では動作対象外となります。ただし、明記された機種、OS に関しても全てのシステム環境において動作保証するものではありません。
4. 弊社では本ソフトウェアに起因するいかなるトラブルに関しても一切の責任を負いかねます。従いまして、本ソフトウェアを導入する前にシステムのバックアップをお取りください。
5. Adjust offset、もしくは Calibrate offset を実行中に DUS シリーズコントローラの電源がオフになった場合には、再度 Adjust offset、および Calibrate offset を実行してください。
6. 本アプリケーション(TPOffset)終了後、タッチ操作ができない場合、DUS シリーズコントローラの電源をオフ/オンして電源を再投入してください。

使用方法

本アプリケーションはインストールは不要です。

任意の場所に、下記の 3 つのファイルが同じ階層になるように保存してください。

<ファイル構成>

└ TPOffset.exe	本アプリケーション
└ TPCTest.ini	構成設定ファイル
└ USBHIDIFu.dll	DLL ファイル

対象インターフェース

本アプリケーションの初期状態の対象インターフェースは、USB のみの対応となります。

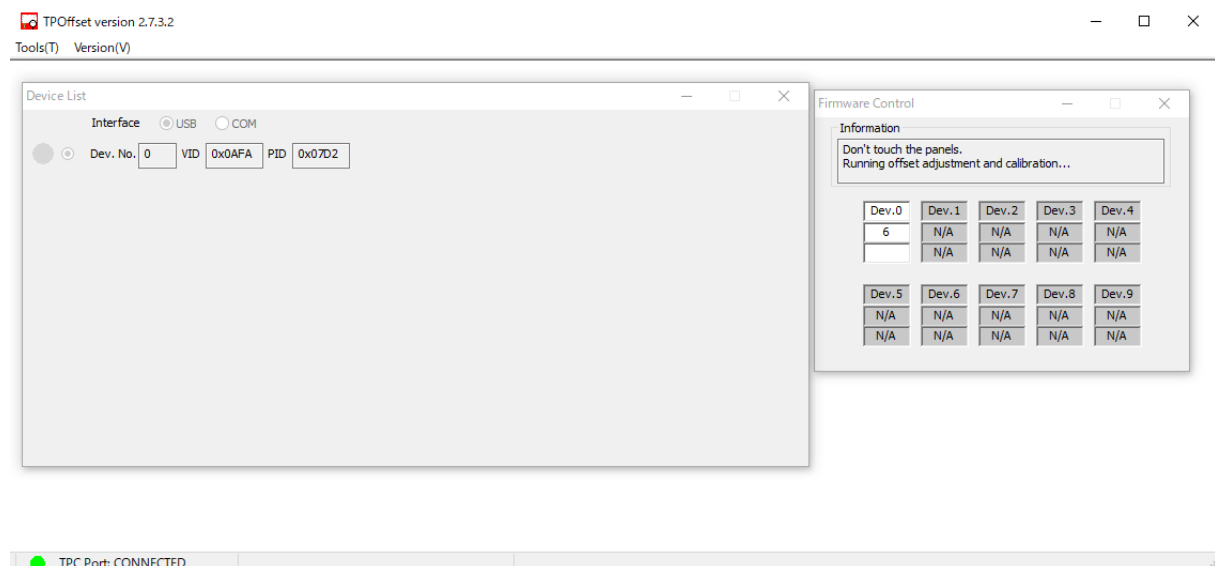
もし、シリアル(UART)接続でご使用になられたい場合は、後述する「手動での実行方法」を参照し手動に切り替え、Interface を“USB”から“COM”へ切り替えてください。

実行

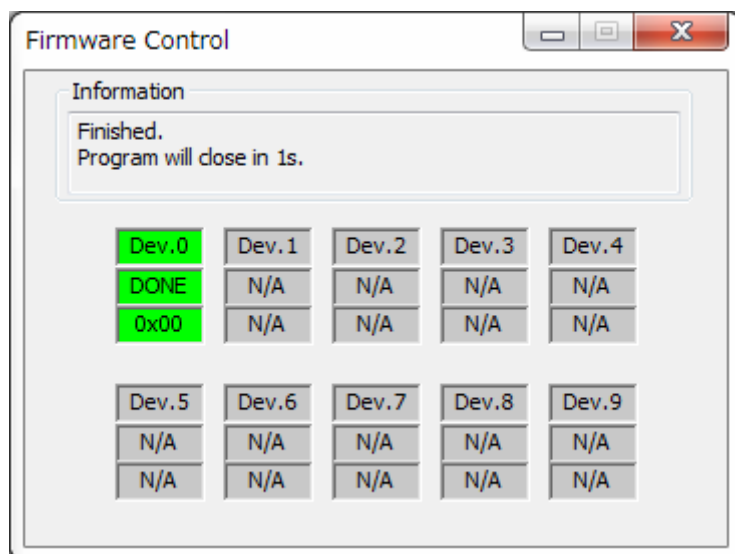
タッチパネルコントローラをホストコンピュータに接続した状態で、TPOffset.exe をダブルクリックなどで実行すると、自動的に本アプリケーションが実行されます。

以下のようなウィンドウが開きます。

(注意) 実行中はタッチパネルには触らないでください。



Information ウィンドウに Finished と表示されましたら終了です。自動的にアプリケーションが終了します。



自動で終了しないように、設定することも可能です。

TPCTest.ini ファイルを開き、

[APPMODE]

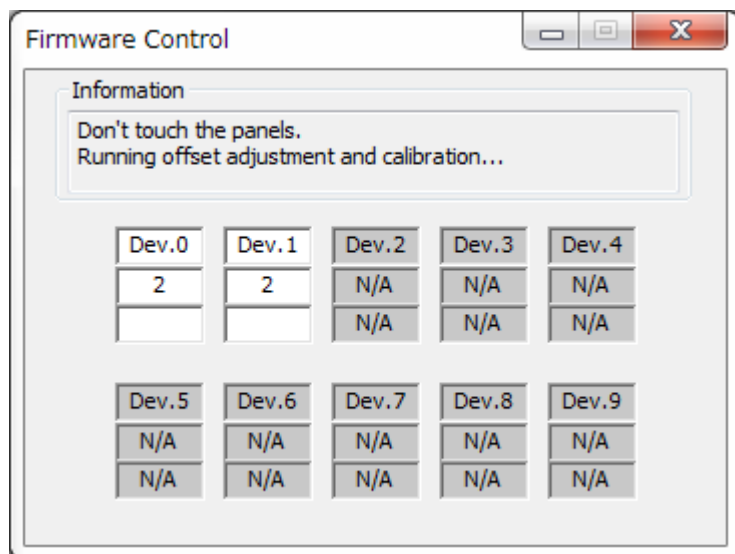
AUTOCLOSE=0

に変更してください(初期値の 1 を 0 に変更)。

上書き保存してファイルを閉じてください。

本アプリケーションは、同時に複数台のコントローラを対象に実行することが可能です。

2 台接続時の例



手動での実行方法

(準備)

TPCTest.ini ファイルを開き、

[APPMODE]

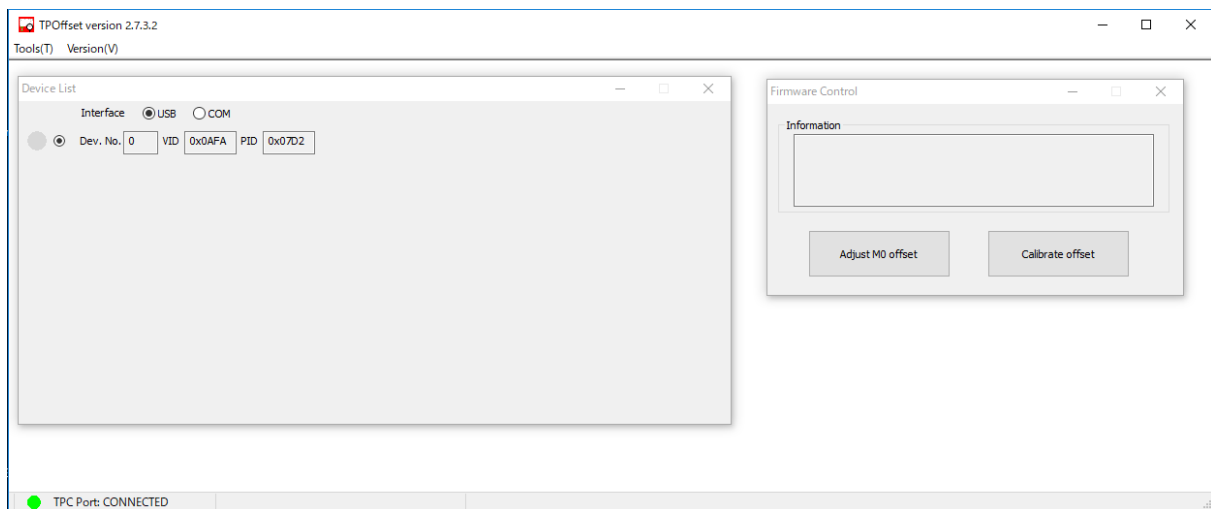
AUTORUN=0

に変更してください(初期値の 1 を 0 に変更)。

上書き保存してファイルを閉じてください。

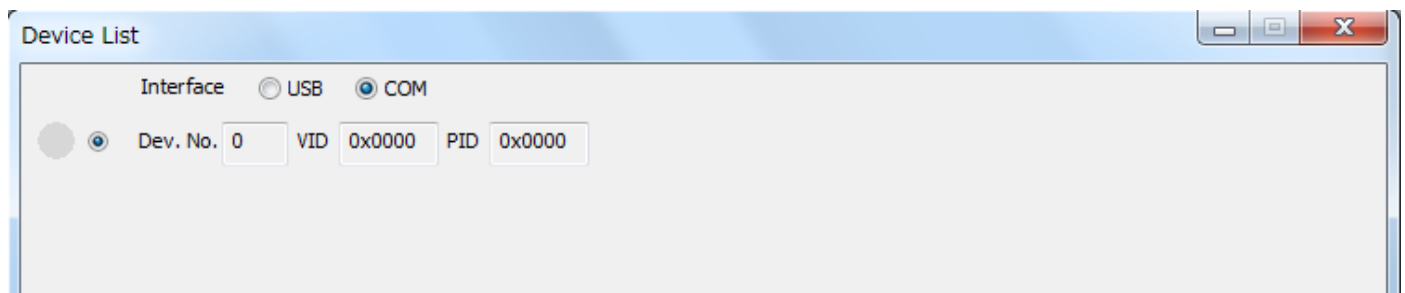
タッチパネルコントローラをホストコンピュータに接続した状態で、TPOffset.exe ファイルをダブルクリックなどで起動してください。

下記のようなウィンドウが開きます。



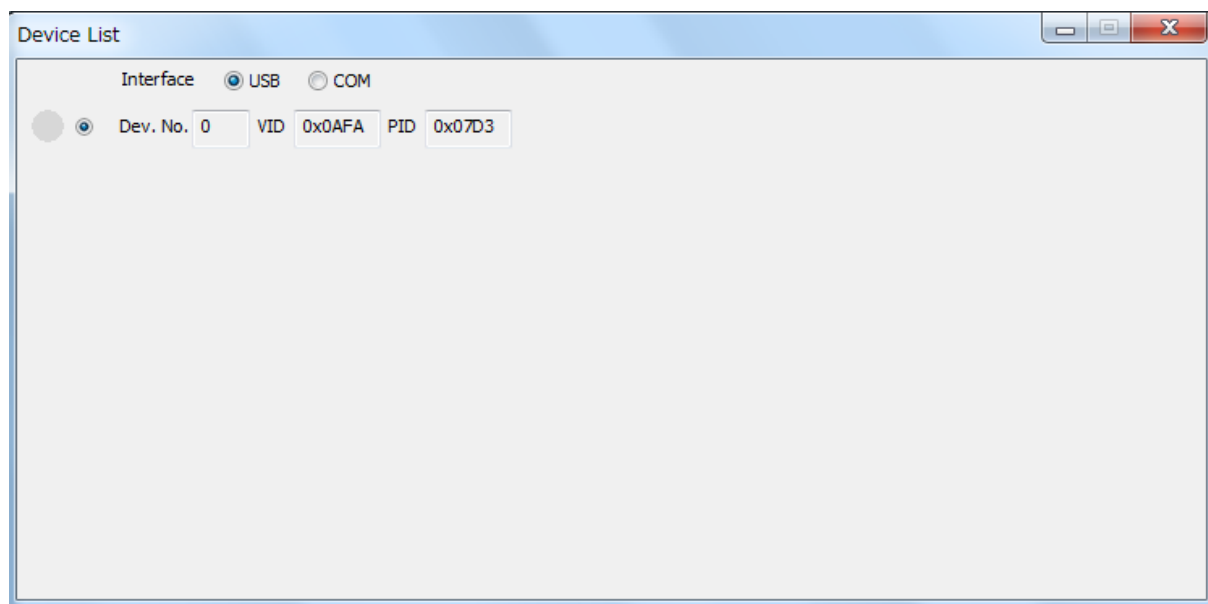
もし上記のように「Device List」「Firmware Control」という 2 つのウィンドウが開かない場合にはメニューにある「Tools」を開き、チェックが付いていない物をクリックしてください。各ウィンドウを×で閉じてしまった場合にも、同様にして開くことができます。

もし、シリアル(UART)接続でご使用になられたい場合は、Interface を「USB」から「COM」へ切り替えてください。



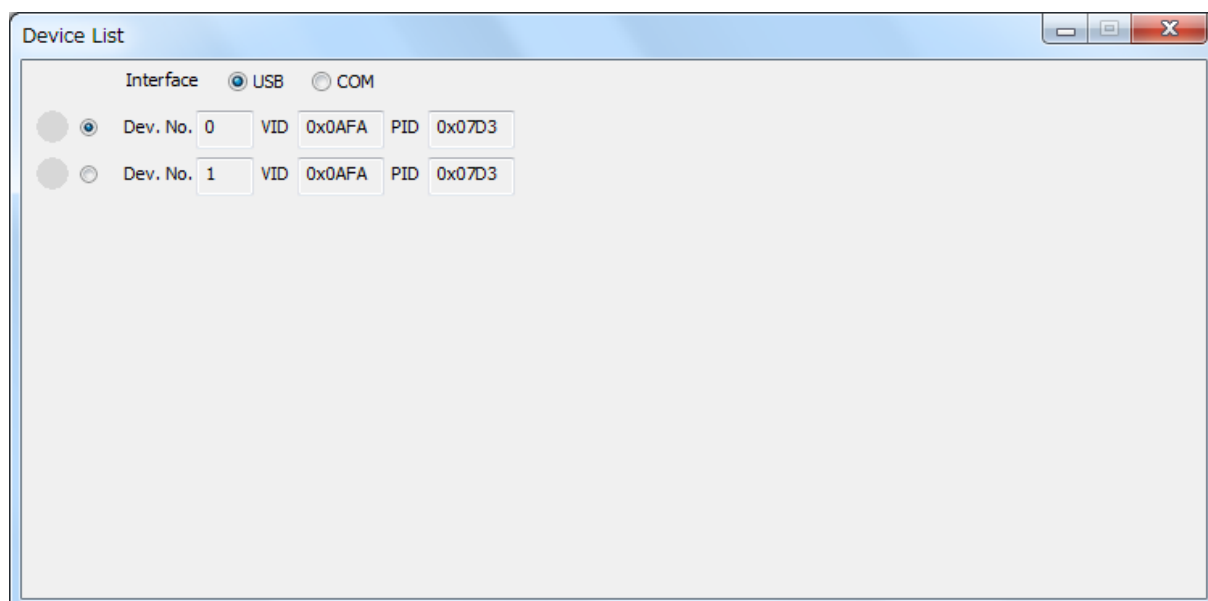
使用方法

まず、Device List にコントローラが認識されていることを確認してください。



複数のデバイスが接続されている場合、コントローラの数だけリストアップされます。

操作対象となるデバイスをラジオボタンで選択してください。



<表示内容>

Dev. No. 0

: デバイス番号を示します

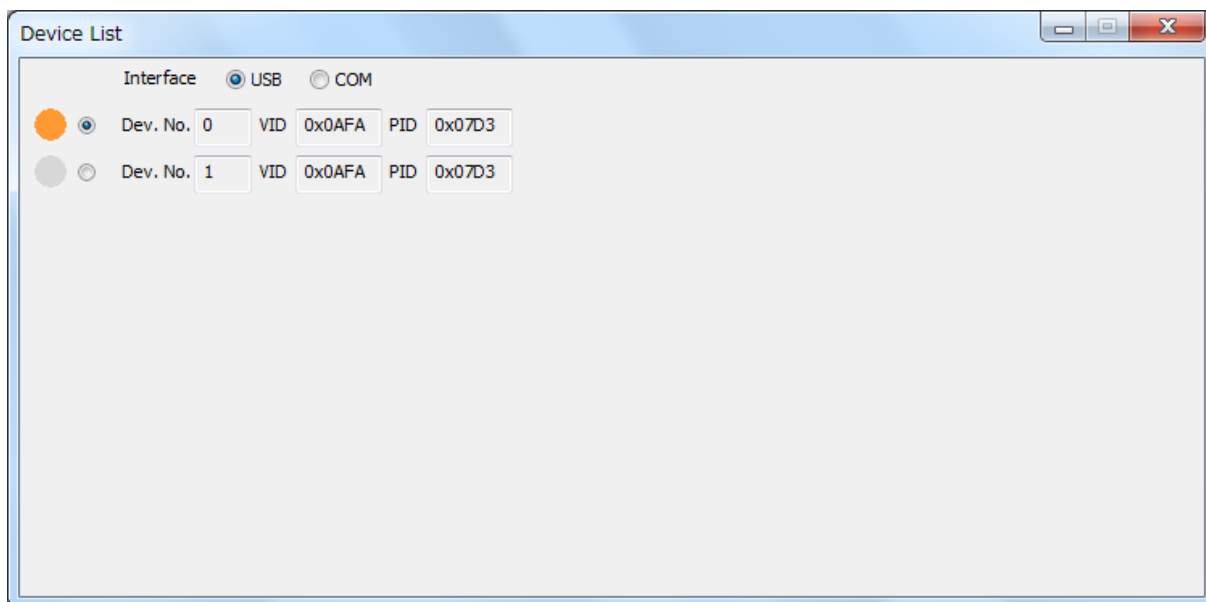
VID	0x0AFA	PID	0x07D3
-----	--------	-----	--------

: 接続したデバイスの Vendor ID/Product ID を示します

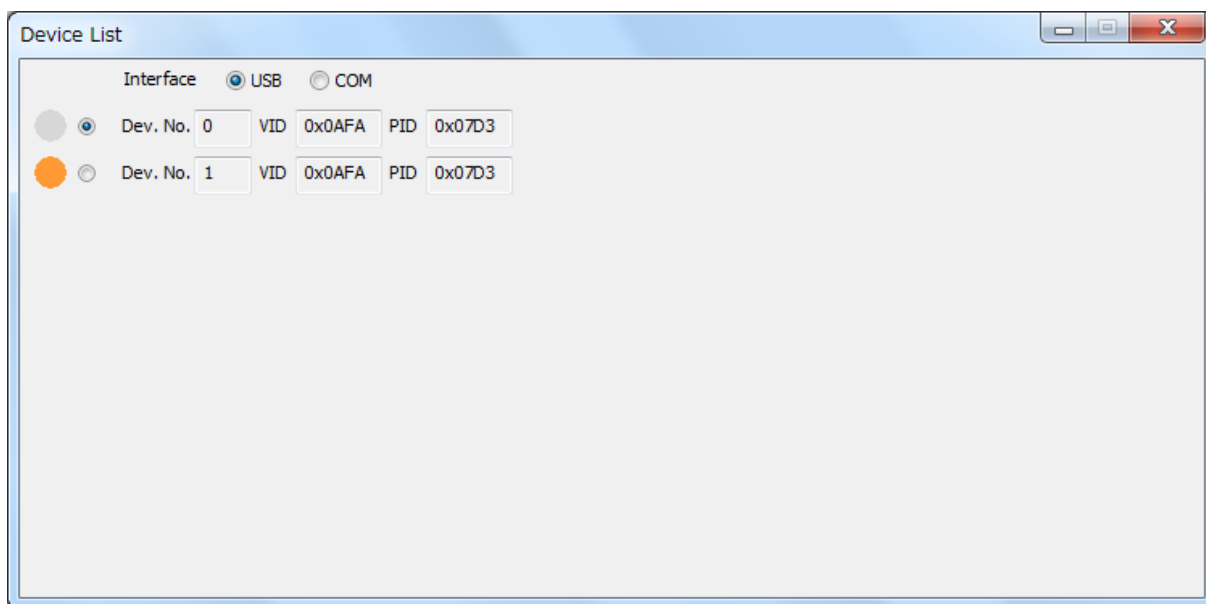
シリアルコントローラの場合、どちらも 0x0000 が表示されます

この状態で、一方のタッチパネルにタッチすると、該当する方のデバイスリストのランプが点灯します。

「Dev No.0」側がタッチされた例

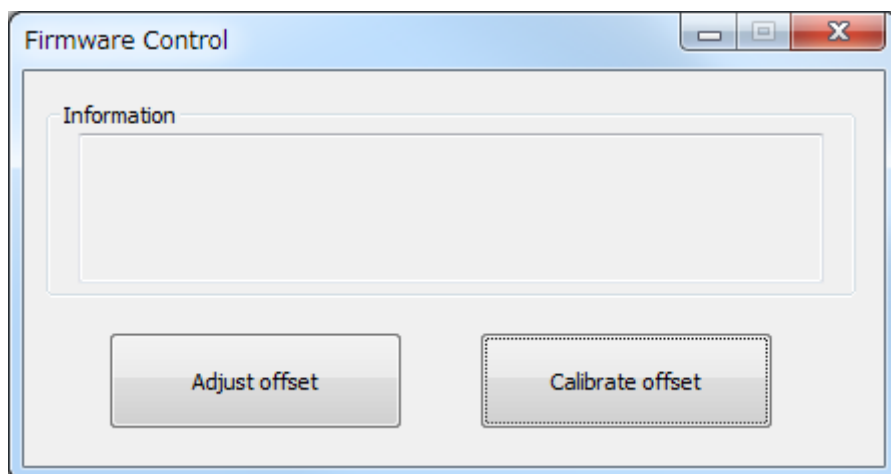


「Dev No.1」側がタッチされた例

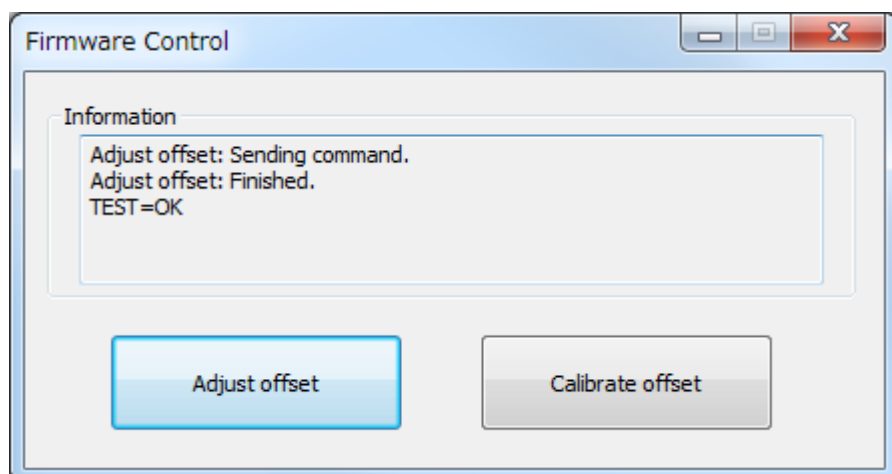


これにより、どのタッチパネルがどの Dev No.かを判断し、設定したい方のラジオボタンを選択してください。

次に、Firmware Control ウィンドウにある「Adjust offset」ボタンをクリックしてください。
(注意)タッチパネルには触れないでください。



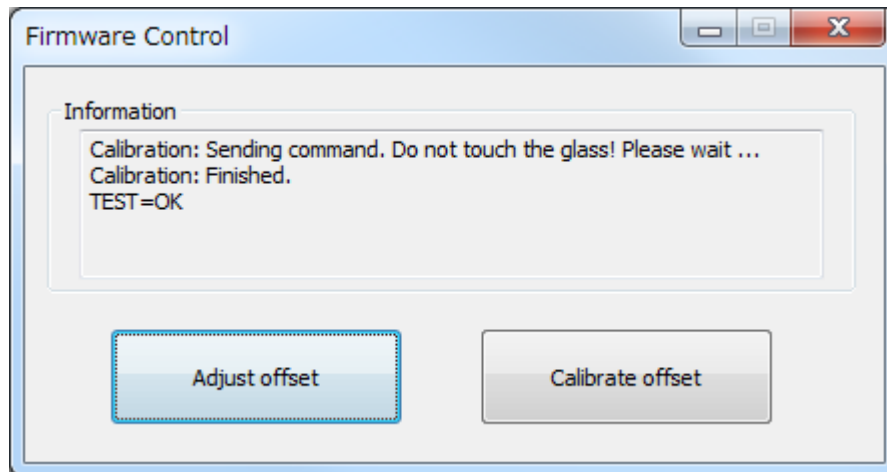
自動的に、ご使用環境に合わせた調整が行われます。
下記のウィンドウ (TEST=OK) が表示されれば終了です。



続いて「Calibration offset」をクリックしてください。

(注意)タッチパネルには触れないでください。

下記のウィンドウ(TEST=OK)が表示されれば終了です。



以上で設定終了です。

アプリケーションを終了してください。

TPOffset v2.7.3.2 取扱説明書

Rev.1 2019 年 4 月 26 日 発行

©2019 DMC Co., Ltd.

本書の再配布を認めますが、本書の改変を禁止します。

株式会社ディ・エム・シー

<http://www.dmccoltd.com/>

〒108-0074 東京都港区高輪 2-18-10 高輪泉岳寺駅前ビル 11F

Phone 03-6721-6731 Fax 03-6721-6732